

取扱説明書

ハンドル型電動車いす アクトモア Lana (ラナ) アクトモア Lana (ラナ) 2

このたびは、本製品をご利用いただき、まことにありがとうございます。
この「取扱説明書」には、本製品を安全にお使いいただくための注意事項
や使用方法などを記載しています。

- 本製品をお使いになる前に、必ずこの「取扱説明書」をよくお読みいただき、正しく安全な取扱方法を理解してください。
- この「取扱説明書」はお読みになった後も、いつでも見られる場所に保管してください。
- 本製品は、改良などにより「取扱説明書」の内容と一部異なる場合もあります。
- ご不明な点がございましたら、当社までお問い合わせください。

表示とその意味

この「取扱説明書」では、次のような表示を記載しています。よく読んで内容を十分理解した上で、ご使用ください。

製品の取り扱いに際して生じる危険を未然に防止するため、安全上の注意事項をその危険の大きさの程度に応じて、次のように分類して表示しています。

表 示	意 味
 危険	誤った取り扱いをすると、人が死亡し、または重傷を負う内容について記載しています。
 警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡し、または重傷を負う可能性がある内容について記載しています。
 注意	誤った取り扱いをすると、人が軽傷を負う可能性がある内容、および物的損害が発生する可能性のある内容について記載しています。

株式会社フロンティア

1 ご使用上の注意

⚠ 危険

【死亡または重傷を招くもの】

- 勾配が10度以上の上り坂や下り坂、または5度を超える横斜面では運転しないでください。
転倒したり、制動がきかなくなるおそれがあります。

- 6cm以上の段差や17cm以上の溝の上を走行しないでください。

- 本製品は、法令上は身体障がい者用車いすとなり、道路を走るときは歩行者として扱われます。歩行者としての交通ルールやマナーを守ってください。車からは姿が見えにくいことにご留意ください。

- 坂道を後ろ向きに走行しないでください。

- 加速時の急カーブ、急停止または高速での旋回はしないでください。
バランスを崩しやすく転倒するおそれがあります。

- 次のような場所では運転を避けてください。

- ・ 交通量の多い道路 ・ 激しい凹凸のある道 ・ ぬかるみ ・ 凍結路 ・ エスカレーター ・ 動く歩道
- ・ 防止柵のない側溝や路肩付近など ・ 崖 ・ 川土手 ・ 海岸防波堤上 ・ その他危険な場所

- 次のような場合は運転を避けてください。

- ・ 夜間 ・ 雨天 ・ 濃霧 ・ 強風 ・ その他危険が予想される場合

夜間は側溝や障害物などが発見しにくくなり危険です。雨天時は路面がすべりやすくなり危険です。

- 次のような場所は必要に応じて介助者が付き添い、注意しながら運転してください。

- ・ 狭い道 ・ 踏切 ・ 横断歩道 ・ 駅のホーム ・ エレベーター ・ その他危険が予想される場所

- 踏切内で立ち往生してしまった場合、介助者や周囲の人の協力を得て非常ボタンを押してもらうとともに、直ちに踏切内から脱出してください。

- 踏切内で立ち往生してしまうおそれがあるため、踏切の横断はできるだけ避けてください。

やむを得ず踏切を渡る場合は、次のことに気を付けてください。

- ・ 踏切を横断する前に、バッテリーの残量が十分か確認してください。

- ・ 必ず介助者と一緒に渡ってください。

- ・ 踏切の手前で一時停止して安全を確認してください。

- ・ 線路の溝にはまらないように線路に対して直角に横断してください。

- ・ 脱輪のおそれがあるため、踏切の端は通行しないでください。

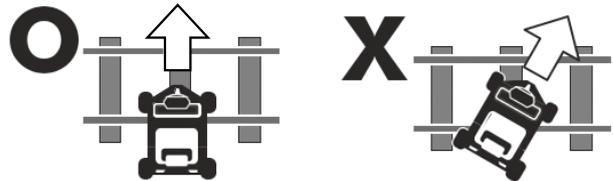
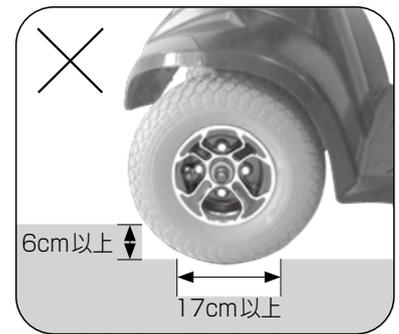
- ・ 警報機が鳴り始めているときや遮断機が降り始めているときには、踏切内に入らないでください。

- ・ 横断に時間がかかり走行距離が長い踏切は迂回してください。

- ・ 立ち往生してしまったら、周囲の人に助けを求めてください。

- 植え込み型心臓ペースメーカーなどを装着している方は、充電時にはバッテリーおよび充電器コードに近づかないでください。

充電により、ペースメーカーなどの作動に影響を与えるおそれがあります。医療用電気機器を装着している方は、医師や医療用電気機器製造業者などに充電による影響の有無を確認してください。



⚠ 警告

【死亡または重傷を招く可能性があるもの】

- 取り扱いが理解できないと思われる方が使用する際には、十分注意してください。

取扱説明書に書かれた内容が理解できないと思われる方（認知症の方など）が使用する場合には、保護者、介護者などが必ず取扱説明書に従った使用を確保し、本人による製品の誤動作、その他誤った使用方法による事故を未然に防いでください。

- 使用者がひとりで運転する場合や介助者が同行する場合は、必ず使用者や介助者の適性を専門家の意見を参考に判断してください。

使用者や介助者の意見だけで判断すると、使用者や介助者、周囲の人がケガをするおそれがあります。

- 操作に慣れるまで、平坦で安全な場所で介助者同伴のもと、運転の練習をしてください。

不慣れな状態で一般公道に出ると、使用者や周囲の人がケガをするおそれがあります。

- 洪水、火災、転落、衝突、交通事故などが発生した場合は、運転を中止してください。

- お酒を飲んだり、眠くなる薬を飲んだ場合は運転をしないでください。
- 身体上の制約や持病などで不安のある場合は運転をしないでください。
疲労や体調がすぐれないときも安全に操作ができないおそれがあります。
- 本製品に人を乗せたまま、車両に積み込んだり、持ち上げによる運搬をしたりしないでください。
- 重心のバランスが崩れた状態で運転しないでください。
転倒したり、車体が傾くおそれがあります。次のような状態にならないように注意してください。
・体の位置や体重のかけかたが不適切 ・スロープや盛り上がった地形での走行 ・荷物やアクセサリーの使用
- 本製品の改造や分解はしないでください。
強度や耐久性が低下したり、事故の原因となるおそれがあります。
- 本説明書に記載されている調整箇所以外の調整を行わないでください。
- 本製品を火気に近づけないでください。
クッションなどが燃えたり、プラスチックなどの変形や熱くなった金属部分でやけどをするおそれがあります。
また、バッテリー部の発熱や破裂のおそれがあります。
- 車体や車輪に異常がある状態で運転しないでください。
ただちに停止して電源をオフにしてください。運転中に壊れて、転倒や転落するおそれがあります。
- 本製品の使用者最大体重（100kg（積載物含む））を守ってください。
- フロントバスケットの最大積載量（3kg）を守ってください。
転倒および操作の障害、フロントバスケットの損傷につながるおそれがあります。
- 本製品は1人乗り用です。2人以上で座って動かさないでください。
介助者は、絶対に本製品に乗って介助しないでください。
- 本製品でけん引をしないでください。
故障したり、ケガをするおそれがあります。
- 本製品を物品運搬用などの目的で使用しないでください。
- シート（座面）以外の部分に腰掛けないでください。
- ハンドルやアームサポートまたはハンドル角度調整レバーなどに物を掛けないでください。
- 混雑した場所で使用するときは、周囲に十分注意してください。
- 後進時、人や物にぶつからないように注意してください。
- 狭い場所と斜面での全速走行は絶対にしないでください。
進行方向が変わってしまうような凸部のある路面を運転する際も十分に注意してください。
- 傾斜地・坂道での走行は特に注意してください。
本製品が予想外の方向に進む、スピードが出やすくなるなど大変危険です。
- 両側にエッジがないスロープでは運転しないでください。
スロープから落ちるおそれがあります。
- スロープや斜面を上る際は、斜めに運転しないでください。
転倒するおそれがあります。
- 雪や氷、濡れた落ち葉で覆われた斜面や凹凸のある斜面を運転しないでください。
- 坂道で手押し操作をしないでください。
- 犬などのペットを引いたり、抱きかかえて運転しないでください。
バランスを崩して転倒・転落など思わぬ事故の原因となります。
- 下記のような適さない服装で運転しないでください。
このような服装で運転すると、使用者や周囲の人がケガをするおそれがあります。
・丈の長いマフラー ・袖口の広い服 ・裾の広いズボン・スカート
・素足または下駄・サンダル履き、足にフィットしていない履き物など
- 運転中に電源をオフにしないでください。
ブレーキがかかり急停止します。使用者や周囲の人がケガをするおそれがあります。
- 携帯電話などを使うときには、安全な場所に停止して電源をオフにしてください。
事故の原因となるおそれがあります。
- 搭載された電子装置は、携帯電話などからの外部の電磁波の影響を受けます。
- 乗り降りは、必ず電源を切ってから平坦な場所で行ってください。
電源が入っていると動き出し、使用者や周囲の人がケガをするおそれがあります。
また、傾斜のある場所で乗り降りをする、バランスを崩しやすく落ちてケガをするおそれがあります。

- バッテリー残量が僅かなときは、速やかに安全な場所に移動してください。
道路横断中など身動きが取れなくなるため大変危険です。
- バッテリーが完全に放電した場合は、できるだけ早く充電してください。
完全放電はバッテリー寿命を縮める要因になります。
- 充電の際は、必ず使用方法を守ってください。
バッテリーや専用充電器はまちがった取り扱いかたをすると、発熱・破裂や、感電などによるケガの原因になります。
- 専用充電器以外のもので充電をしないでください。
- バッテリー部や専用充電器を水に入れたり、直接水をかけたりしないでください。
- 浴室や雨などで濡れる場所で充電をしないでください。
- 充電器を落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
- 壊れたり傷んだりした充電器は使用しないでください。
- 幼児やペットが近づくところでは充電をしないでください。
- 専用充電器は不安定な場所で使用しないでください。
また、使用後は充電器コードのプラグをコンセントに差したままにしないでください。
- 燃えやすいものの近くで専用充電器を使用しないでください。
- 車体の充電ソケットが汚れている状態や濡れている状態で充電プラグを差し込まないでください。
ショートするおそれがあり、火災やバッテリー破裂の原因になることがあります。
- 使用しない場合や保管中は、電源をオンにしたままにしないでください。
- バッテリー部や専用充電器からいつもはしない臭いがしたりするなど、今までとは異なることに気がついたときには、本製品の運転や専用充電器の使用を停止し当社まで連絡してください。
- バッテリーの充電中は専用充電器の吸気口、排気口をふさがないでください。
- ステッカーは絶対に本製品からはがさないでください。
ステッカーが見えにくくなった場合、またははがれた場合は当社までご連絡ください。



注 意

【軽傷または中程度の傷害を招く可能性があるもの】

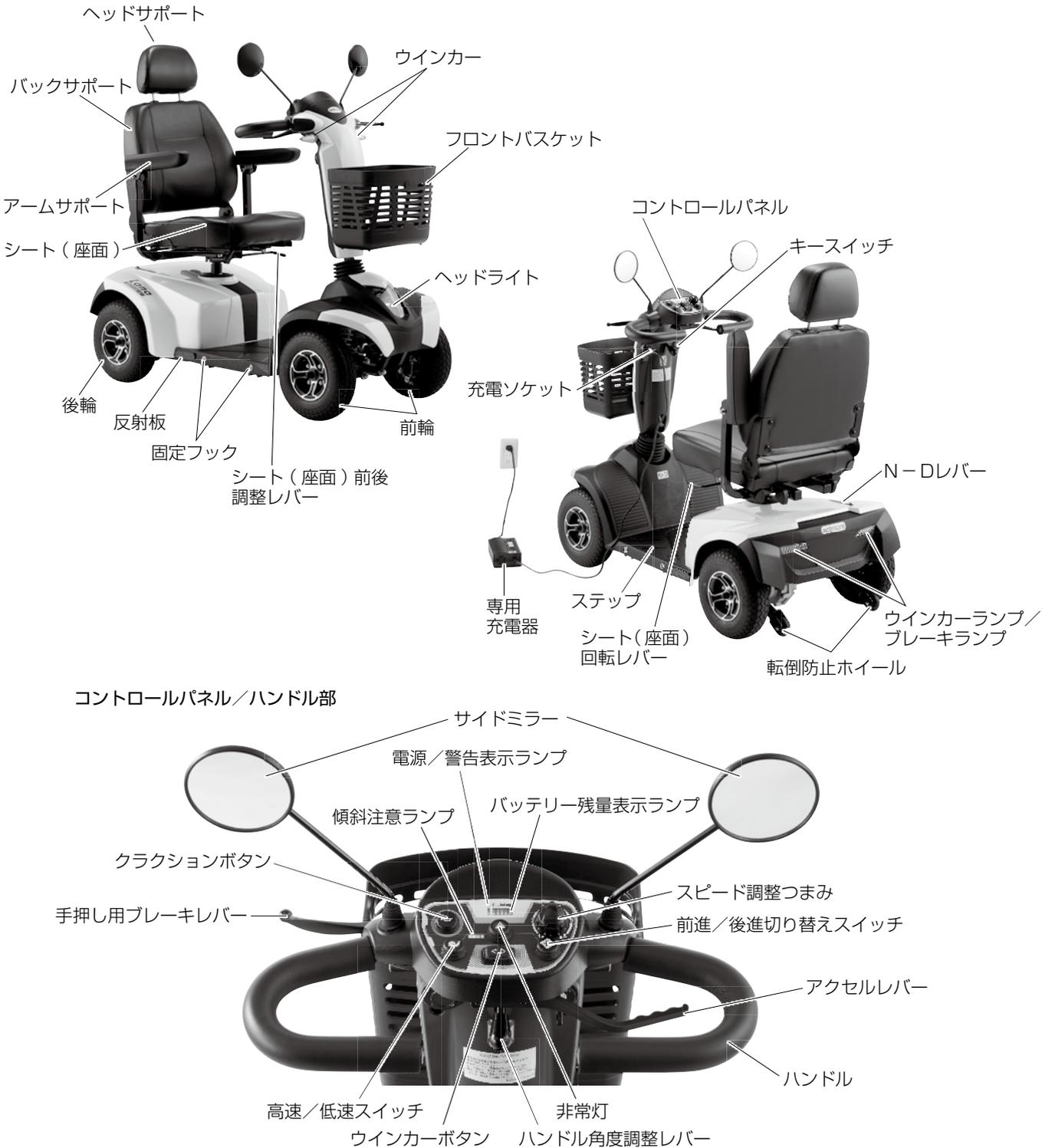
- 運転する前には各部を必ず点検してください。
本製品は“動くもの”ですから、長時間の使用により劣化が生じます。
異常が見つかったらただちに使用を中止してください。
- 本製品を落としたりたたいたりして、衝撃を加えないでください。
- 運転中は、足を必ずステップの上のせてください。
足を地面に着けたままで走行したり、ステップから下ろして走行すると、足が巻き込まれてケガをするおそれがあり大変危険です。
- 乗り降りの際に、アクセルレバーを支えとして使用しないでください。
- 靴を履かずに足をステップにのせて使用しないでください。
壁や柱で足をケガしたり、足がステップから落ちて骨折するなど、大変危険です。
- 壁やドアなど硬いものにぶつかった際は、損傷していないことを確認してから、再度運転してください。
- 充電器コードを引っ張って抜かないでください。
断線の原因になります。
- 高温になる場所や直射日光があたる場所に置かないでください。
故障したり、バッテリーの劣化が早く進む原因になります。
- バッテリーのヒューズが切れた場合、ご自身で交換せず当社まで連絡してください。
ヒューズが切れた原因を取り除かずにヒューズを交換すると、ふたたびヒューズが切れたり、バッテリー本体が故障したりするおそれがあります。

2 製品の特長

- 免許なしで乗れるハンドル型電動車いすです。
- 登降角度が上下に10度、左右に5度傾くと警告ブザーや注意ランプでお知らせします。
- アームサポートの跳ね上げやシート（座面）が回転するなど、乗り降りしやすい仕様です。
- ハンドルの角度やシート（座面）の前後を運転しやすい位置に調整できます。

3 各部の名称

【アクトモア Lana2】



4 適合調整

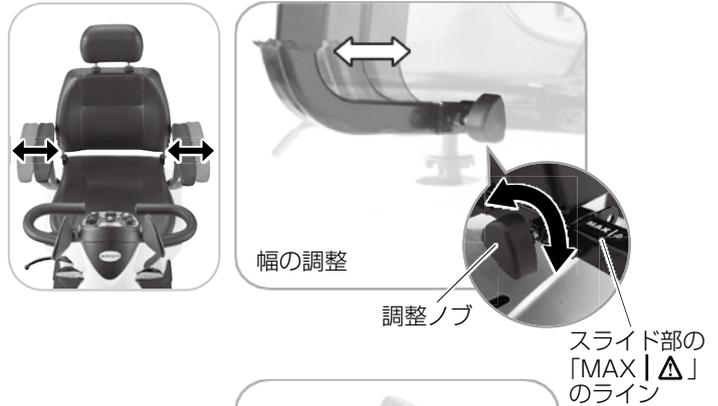
アームサポートの調整のしかた

アームサポート幅の調整

- ① アームサポートの支柱下部にある調整ノブを回してゆるめます。
- ② 左右のアームサポート位置の幅を使用者の体に合わせて調整します。
- ③ 位置を合わせたら調整ノブを締めて固定します。

△注意

スライド部の「MAX | △」のラインを超えて調整しないでください。

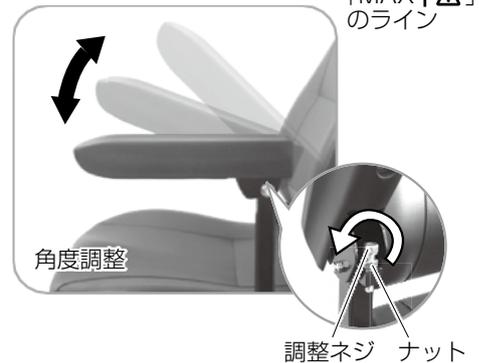


アームサポートの角度調整

- ① アームサポートを跳ね上げて、六角棒レンチを使い調整ネジを回します。
- ② 反時計回りに回すとアームサポートの角度をつけることができます。左右のアームサポートの角度を使用者の体に合わせて調整します。
- ③ 角度を合わせたらナットを六角棒レンチで締めて固定します。

△注意

アームサポートの調整を行うときは、必ず電源をオフにしてください。



シート（座面）の前後調整のしかた

- ① シート下の右側にある前後調整レバーを握り、シートの位置を前後に動かします。
- ② 位置を合わせたら握っているレバーを離してカチッと音が鳴りロックしていることを確認してください。

△注意

- シートの前後調整を行うときは、必ず電源をオフにしてください。
- ハンドル角度調整レバーにバッグなど荷物を掛けしないでください。ハンドルの位置が動くおそれがあり、大変危険です。



ハンドルの角度調整のしかた

- ① ハンドル角度調整レバーを押して、ハンドルの位置を前後に動かして調整します。
- ② ハンドルの位置が決まったら、ハンドル角度調整レバーから手を離して固定します。

△注意

ハンドルの角度調整を行うときは、必ず電源をオフにしてください。



サイドミラーの調整のしかた

左右のサイドミラー全体を動かして角度を調整します。

△注意

必ず走行前に調整してください。
走行中の調整は前方不注意の原因となります。



ヘッドサポートの高さ調整のしかた

ヘッドサポート下部にある高さ調整ボタンを押して高さを調整します。
4段階の調整ができます。カチッと鳴りロックがかかる位置で固定してください。

△注意

ヘッドサポートは高さが固定された状態でご使用ください。



アクセルレバー位置の入れ替え

アクセルレバーは標準仕様では右側です。
左側へ付け替えたい場合は、当社までお問い合わせください。



オプション品

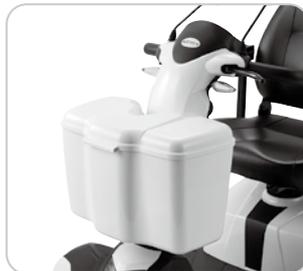
バッグサポート背面に取り付けるオプション品（ステッキホルダー、リアバッグ、セーフティーフラッグ）は最大2点まで取り付けが可能です。

【フロントバスケット（フタ付き）】

- 荷物の盗難防止のため、フタ付きのフロントバスケットへ交換できます。
- カギを閉めることができるため安心です。
- 取り付けは、当社までお問い合わせください。

△注意

荷重3kg以上の荷物を入れないでください。



【リアバッグ】

- フロントバスケットの積載量では足りない場合、リアバッグを装着し積載量を増やすことができます。
- バックサポート背面の下にある左側のパイプに差し込み、ノブねじで固定し取り付けます。

△注意

荷重3kg以上の荷物を入れないでください。

最大全長が歩行者規定（道路交通法施行規定）を越えるため、管轄の警察署へ確認申請の上、許可を受けてからご利用いただけます。詳細は当社までお問い合わせください。



【ステッキホルダー（右用／左用）】

- 杖が入られるステッキホルダーを装着できます。
- バックサポート背面の下にあるパイプ（右用は右側のパイプ、左用は左側のパイプ）へ差し込みノブねじで固定し取り付けます。

△注意

- ステッキホルダーは外側へ取り付けるため、走行時に歩行者などへぶつからないように注意してください。
- 左用のステッキホルダーとリアバッグは同時に取り付けできません。
リアバッグ装着の際は、右用のステッキホルダーをご利用ください。



【セーフティーフラッグ】

- 視認性を高めるため、地上高190cmのフラッグを装着できます。
- バックサポート背面の下にある左右いずれかのパイプへ差し込みノブねじで取り付けステーを固定し、フラッグ本体を差し込んで取り付けます。

△注意

フラッグは簡単に抜き差しができるため、カバーをかける際などは取り外してください。



5 使用前の準備と点検

- 本製品は、道路交通法では「歩行者」として扱われ、運転免許は必要ありません。「歩行者」として交通ルールやマナーを守ってください。
- 歩道や横断歩道を通り、歩道のないところは右側通行してください。横断歩道では、一時停止して安全を確認してください。
- 歩道が途切れた所や、通行できないためやむを得ず車道に出るときは、車や段差に十分注意してください。
- 斜め横断はしないでください。
- 混雑している場所は避けるようにしてください。

使用前の点検

使用前に下記の項目について必ず確認してください。

点検して異常が見つかったときには当社に連絡してください。

毎日の点検

- N-Dレバー
正しく機能が作動すること
- クラクションボタン
警笛（ホーン）が鳴ること
- アクセルレバー
アクセルレバーを握り動き出すこと
- 電磁ブレーキ
アクセルレバーを少し握ってから離し、ブレーキが作動すること
- ハンドル
左右にハンドルを回した角度が同じであること
- バッテリー残量表示ランプ
・ バッテリー残量のランプが表示されていること
・ バッテリーが十分に充電されていること
- サイドミラー
・ しっかり固定され、ぐらつかないこと
・ ミラー面がきれい以後方がしっかり見えること
- その他
・ ヘッドライトやウインカーランプ／ブレーキランプが正しく機能していること
・ 左右の反射板が外れていないこと



毎週の点検

- スピード調整つまみ
正しく機能が作動すること
- アームサポート
しっかり固定されていてガタつかないこと
- タイヤ
・ 溝があること（溝の深さは0.5mm以上）
・ 亀裂が入っていないこと
・ 溝に異物が挟まっていないこと
・ ホイールに変形や傷がないこと
・ ガタつきがないこと

毎月の点検

- シート（座面）
回転や前後調整などの動きがスムーズであり摩耗していないこと

服装のチェック

服装が運転に適したものかどうかを確認してください。

△注意

下記のような適さない服装で運転しないでください。
このような服装で運転すると使用者や周囲の人がケガをするおそれがあります。

丈の長いマフラー 袖口の広い服 裾の広いズボン・スカート

素足または下駄・サンダル履き、足にフィットしていない履き物など

バッテリーの残量確認のしかた

コントロールパネルにある、バッテリー残量表示ランプを確認してください。

表示ランプが「F」の時は十分にバッテリーが残っています。

「E」に近づいていくと、バッテリーが不十分になります。

△注意

運転前にバッテリー残量を確認してください。
赤色の充電ランプが点滅したら、ただちに運転をやめ、充電してください。

バッテリー残量表示ランプ



6 走行診断チェック

使用者の身体状況によっては、ひとりで運転することが危険な場合があります。
この診断チェックを利用していただき、ひとりで運転できるかどうかの判断のめやすにしてください。

チェック

(1) コントロールパネルのスイッチ類や
アクセルレバーを自分の意思どおりに
動かすことができますか？

(2) 周囲の状況を正しく理解し
運転すべきか気にかけることができ
ますか？

両方とも
できる

いずれかに
不安がある

本製品の運転は避けてください。

ひとりで運転することは可能です。安全のために慎重な運転を心掛けてください。P12「外出時の注意点」にあるような場所では必ず介助者に同行してもらい、安全に十分配慮して運転してください。

7 基本操作の練習

基本操作 1

平坦な広い場所で基本操作の練習を行ってください。

1) はじめに速度を低速に調整してからアクセルレバーの使い方を覚えてください。

- ・進みたい方向にハンドルを向けてアクセルレバーを握ります
- ・ゆっくり走るときは浅めにアクセルレバーを握ります
- ・速く走るときは深めにアクセルレバーを握ります
- ・停止するには、アクセルレバーから手を離し元の位置に戻してください
アクセルレバーは、ゆっくりと動かしてください

2) アクセルレバーの操作感覚を覚えたら以下のような走り方をしてみましょう。

■ 前進・停止

■ 後進

- ・後進時の特性を理解しましょう
- ・サイドミラーなどを使い後ろの安全を確認しましょう

■ 旋回

- ・狭い場所で旋回できるようになりましょう
- ・左右方向に回ってみましょう

■ S字クランク走行

- ・思いどおりのコースを通れるようになりましょう
- ・速度と方向転換のタイミングを覚えましょう

■ 障害物回避

- ・回避動作ができるようになりましょう
- ・障害物にぶつからないように停止してみましょう

3) 速度を徐々に上げて同じ練習を行ってください。

基本操作 2

実際に使う場所で練習を行ってください。

初めて使う場所に出るときは、必ず介助者と一緒に外出し、安全を確かめながら運転してください。

① 歩道

- ・歩行者や障害物にぶつからないようにしましょう
- ・路面に応じた運転を覚えましょう

② 段差の上り下り

- ・段差の高さが6cm以下であることを確認しましょう
- ・段差に対して直角に通過できるように進みましょう
- ・手前でいったん停止し、慎重に進みましょう

③ 横断歩道

- ・余裕をもって横断歩道を渡りましょう
- ・車道／歩道の段差に注意しましょう

④ 坂道

- ・上り下りの感触を覚えましょう
- ・上り坂での再発進は慎重にしましょう

⑤ 自動ドア

- ・定位置でいったん停止する練習をしましょう

⚠ 注意

日常、よく使う場所の路面を必ず確認してください。

大きな段差、急な坂道、荒れた路面など危険な場所を通らないルートを運転するようにしてください。

8 取扱いの方法

手押し操作のしかた

モーター駆動を使わず、手押しで本製品を動かすときに使用します。

N-Dレバーの切り替えかた

- ① キースイッチを左に回し電源をオフにします。
- ② N-Dレバーを「N」（ニュートラル）に合わせます。

⚠ 警告

- 平坦な場所で切り替えてください。
- N-Dレバーを「N」（ニュートラル）に合わせて介助者が押す場合、車体を制御できることを必ず確認してください。
- N-Dレバーを「N」（ニュートラル）に合わせて移動した後は、必ずN-Dレバーを「D」（ドライブ）に戻し、起動させてください。
- 電源をオンにしたままN-Dレバーを操作しないでください。



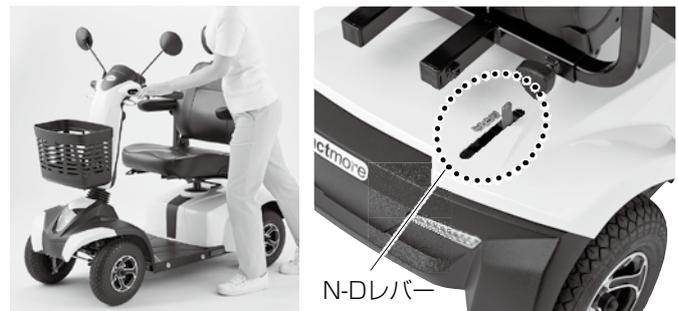
手押し用ブレーキレバーの使いかた

N-Dレバーを「N」（ニュートラル）にしたとき、電磁ブレーキは作動しません。

手押し用ブレーキレバーを握って本製品を制御してください。

⚠ 警告

坂道で手押し操作をしないでください。
手を離して電磁ブレーキが利かず衝突や転倒など重大な事故につながるおそれがあります。



自動車での輸送方法

車両へスロープを掛けて積み込む際は、必ず2人以上で作業してください。

- ① 運搬する車両にスロープを掛けます。
- ② N-Dレバーを「N」（ニュートラル）に合わせます。
- ③ 手押し用ブレーキレバーを握りながら手押しで移動させてください。
- ④ 車両に積み込んだら、N-Dレバーを「D」（ドライブ）に戻してください。
電源がオフになっていることを確認してください。
- ⑤ 本製品は車両に固定するための4つの固定フックがあります。
輸送中は、本製品が動かないように固定し安全を確保してください。

⚠ 警告

- 輸送中は、N-Dレバーが「D」位置にあることを確認してください。
- 輸送中は、本製品に乗らないでください。



外出時の注意点

- お使いいただく環境や場所によっては、必要に応じて介助者の同行が必要な場合があります。ひとりでの運転は、ケガをするおそれがあります。
- また、日常よく使う場所に次のような危険がないかどうかを確認して、もし危険がある場合には、このような箇所を通らないルートを選ぶようにしてください。
- 緊急時は介助者や周囲の人に、N-Dレバーを「N」（ニュートラル）にして、電源をオフにして押しもらい安全な場所に移動してください。
操作は車体の左側に立ち、手押し用ブレーキレバーでブレーキ操作を行いながら押ししてください。速い速度で手押し操作をすると抑速機能が働きます。その場合、一旦手押し用ブレーキレバーを握ってから、ゆっくり押ししてください。

踏切や路面電車の線路を渡るとき

線路のすき間にタイヤがはまるおそれがあります。

柵がない歩道

車道側に落ちるおそれがあります。

側溝や下水溝のフタ

すき間がある場合、タイヤが落ちるおそれがあります。

砂利道や泥道

タイヤが埋まり、身動きがとれなくなるおそれがあります。

車体が左右に大きく傾く場所

横に倒れるおそれがあります。

雪・水溜りのある道路

スリップしてコントロールができなくなったり、ブレーキが利かなくなるおそれがあります。駆動部が水に浸かると停止するおそれがあります。

不慣れな道路の横断

- ・ 特に信号機のない横断歩道では、交通状況に十分注意して渡ってください。
- ・ 信号機のある横断歩道でも、広い道路では横断中に信号が変わるおそれがあります。このような場所では、信号が次の青になるまで待って、余裕を持って渡るようにしてください。
- ・ 狭い車道を運転することは大変危険です。できるだけ安全な道を選んでください。
- ・ バッテリー残量が少ない場合は、横断中にバッテリー切れになり動かなくなるおそれがあります。横断前にバッテリー残量を確認してください。

夜間の走行

路面状態がわからず転倒したり、周囲の人や車から認識されずに人や車と衝突するおそれがあります。

大きなくぼみを越えるとき

道路にくぼみがある場合は回避してください。そのまま運転すると転倒するおそれがあります。

不慣れな坂道の上り下り

駅のプラットフォーム

線路に転落するおそれがあります。

リフト付車両への乗降

混雑した場所での移動

人や物にぶつかるおそれがあります。

大きな段差や障害物の上り下り

バランスを崩しやすく、転倒するおそれがあります。

急な坂道や段差の下り

前のめりになり本製品から落ちるおそれがあります。

9 運転のしかた

シート（座面）に座る

- ① キースイッチを回し電源をオフにします。
- ② シート下の左側にある回転レバーを握り、シートを回転させます。
回転は2段階に固定されます。乗りやすい位置に回転させて固定してください。
- ③ 移乗側のアームサポートを跳ね上げて乗り移ります。
- ④ アームサポートを戻し、シート回転レバーを握り座面の向きを戻します。



△注意 本製品に乗り移るときは必ず平坦な場所に停めてください。

運転する

- ① キースイッチを回し、電源をオンにします。
電源を入れると、電源／警告表示ランプが点灯します。
キースイッチを「ライト」まで回すと、ヘッドライトが点灯します。
- ② 必要な場合はスピード調整つまみで速度の調整をします。
調整方法は、次項を参照してください。
- ③ アクセルレバーを握ると走り出します。
最初にアクセルレバーを少しだけ握り、正しく動くことを確認してください。
はじめての方は、P10を参照して、慣れるまで基本操作の練習をしてください。
- ④ 前進／後進切り替えスイッチの「前」を押した状態でアクセルレバーを握ると前進します。
「後」を押した状態でアクセルレバーを握ると後進します。後進する際はピーピーと警告ブザーが鳴り、「Lana2」はハザードランプが点滅します。



速度調整のしかた

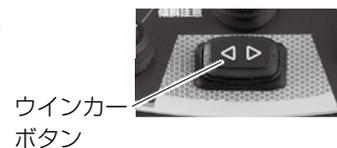
- コントロールパネルのスピード調整つまみを回して速度の調整ができます。
「Lana」は、ウサギ側に回すと高速になり、カメ側に回すと低速になります。
「Lana2」は、1～6段階で数字が大きい側に回すと高速になり、小さい側に回すと低速になります。
- コントロールパネルの高速／低速スイッチを手前に押し、低速モードになり、最大速度が3km/hになります。
スピード調整つまみを回さずに行えます。通常の設定に戻すときは、高速／低速スイッチを上方に押ししてください。



- △注意**
- 操作を始めるときは、最大速度に設定しないでください。
 - 斜面を登るときはスピード調整つまみを回し速度設定を上げ、下る場合は速度設定を下げてください。

ウインカーの使いかた

コントロールパネルのウインカーボタンを押して、曲がる方向を周りの方へ示すことができます。



走行中のバッテリー残量確認

走行中は、コントロールパネルのバッテリー残量表示ランプでいつでもバッテリー残量の確認ができます。



バッテリー残量表示ランプ

その他の機能

● 警笛（ホーン）を使う

コントロールパネルのクラクションボタンを押すと、警笛（ホーン）が鳴ります。

● スリープモード

電源を入れた状態でアクセルレバーを15分間操作しない場合、長いブザー音が一度鳴り、自動的に電源が切れます。（初期設定）

スリープモードになると、コントロールパネルの電源／警告表示ランプは消灯し、アクセルレバーを握っても反応しません。続けて走行する場合は、一度キースイッチを回し電源をオフにしてから、再度電源をオンにしてください。

● 傾斜注意喚起機能

坂道など走行時に、登降限界角度（上下10度）、傾斜限界角度（左右5度）を超えると「Lana」は警告ブザーが鳴り、「Lana2」は傾斜注意ランプが点灯します。

「Lana2」は、さらに急角度になると警告ブザーが鳴りお知らせします。

警告ブザーが鳴った場合、ただちに走行を停止し、安全な場所へ移動してください。



警笛（ホーン）



シート（座面）から降りる

① キースイッチを回し電源をオフにします。

② シートを回転させ、アームサポートを跳ね上げて降ります。

⚠ 注意

降りるときは必ず平坦な場所に停めてください。



10 バッテリーのご使用方法

バッテリーの特長

- 1回の充電で最大約30kmの走行が可能な大容量バッテリーです。
- メモリー効果が起きにくいいため、リフレッシュ充電は不要で、継ぎ足し充電をすることが可能です。

バッテリーの特性と取り扱い

- **温度環境**
温度環境によっては、走行できる距離が短くなる場合があります。
- **バッテリーの充電表示機能**
コントロールパネルのバッテリー残量表示ランプが1つになった場合は、ただちに充電をしてください。充電が終わったあと、バッテリー残量表示ランプで充電できた量を確認できます。バッテリー残量表示ランプが赤色に点滅した場合、すぐに充電をしてください。残りの充電で走行できる距離は3km以下になります。
充電完了後、全てのランプがつかないときは、以下の原因が考えられます。
 - ・ 充電中にバッテリーの温度が上がりすぎて保護のために充電が中断した。
 - ・ 劣化が進んで容量が減少してきている。
- **バッテリーの劣化について**
バッテリーは消耗品です。バッテリーは使うことによって、また時間が経過することによっても徐々に劣化し、容量は減少します。
劣化によって容量が減少する度合いは、使用条件によって異なります。
※ 未使用であっても長期間保存した場合は、バッテリーは劣化し容量は減少します

⚠ 注意

- 早期に劣化の表示がされた場合は、当社にご連絡ください。
- 充電中に専用充電器の温度が上がると、冷却ファンが自動的に作動します。充電中は吸気口、排気口をふさがらないでください。

バッテリーの充電方法

- ① 充電の準備をします。室内の平坦な場所に本製品を置きます。
- ② キースイッチを左に回し電源をオフにします。
- ③ 専用充電器に充電器コードを差し込み、家庭用コンセントに接続します。
- ④ 専用充電器の充電プラグをハンドル角度調整レバー横の充電ソケットに差し込みます。通電ランプが赤色に点灯し、専用充電器の充電ランプが橙色に点灯することを確認します。
- ⑤ 充電中はバッテリーの充電状況を充電ランプで確認することができます。充電が終わると充電ランプは緑色に点灯します。バッテリーが空の状態から充電を始めたとして、充電完了までの時間は最大15時間です。
- ⑥ 充電完了後、充電器コードをコンセントから抜いた後、充電プラグを充電ソケットから抜きます。



⚠ 注意

0℃～40℃の環境で充電をしてください。

この範囲外だと、バッテリーの劣化や十分な充電ができないなどの不具合が発生する可能性があります。

充電ランプの表示と内容

- 橙色の点灯：通常充電中です。充電が終わると充電ランプは緑色に点灯します。
- 赤色の点灯：充電待機中です。
- 緑色の点灯：充電完了です。
- 橙色の点滅
専用充電器またはバッテリーの異常を検出したため充電できません。いったん充電プラグと充電器コードを抜いて充電を中止し、充電器、充電器コードの接続などに異常がないかを確認してから再度充電をしてください。
再び充電ランプが橙色に点滅する場合は機器の故障が考えられます。充電プラグと充電器コードを抜いて充電を中止し、当社にご連絡ください。



⚠ 警告

- バッテリーや専用充電器はまちがった取り扱いをすると、発熱、破裂、感電などによるケガの原因になります。
- 充電器、充電器コードは本製品専用です。他の製品には使用しないでください。

11 保守・点検

日常のお手入れ

- 使用する前には必ずP8「使用前の準備と点検」を確認し、常に安全な状態で使用してください。
- 湿気に弱いため、水のかかる場所などに放置しないでください。
- 車体の汚れは水で濡らし強く絞った布などでふき取ってください。
- 汚れがひどいときは、中性洗剤を使ってふき取り、その後乾いた布でよくふき取ってください。

⚠ 注意

- タイヤ以外に直接水をかけないでください。
- 高圧洗浄機やスチーム洗浄機で洗浄しないでください。

保管方法

- 直射日光が当たる所、高温になる所、雨に濡れる所、湿気の多い所を避けて保管してください。
- バッテリーは自然放電するので、使用しない場合も2週間に1回程度は充電してください。

⚠ 注意

使用しないときは、電源を必ずオフにしてキースイッチのカギは取り外し大切に保管してください。
子どもや、操作を知らない人が操作すると危険です。

12 故障かな？と思ったら

故障ではない場合もありますので、修理を依頼される前にもう一度、以下の項目をチェックしてください。

こんなとき	ここを確認	こうしてください
動かない	バッテリーが切れていませんか	バッテリーを充電してください
	外気温が氷点下のときや夏の炎天下で運転していませんか。また外気温が氷点下になる場所や室内など高温になる場所で保管していませんか	バッテリーが適温になるまで待機してください
	アクセルレバーを握ったまま電源をオンにしていませんか	アクセルレバーを握らず電源操作をやり直してください。直らない場合は当社にご連絡ください
	スリープモードで自動的に電源が切れたままになっていませんか	電源を入れ直してください
	モーターがオーバーヒートしていませんか	電源を切ってしばらく休ませてから運転してください
	専用充電器がつながったままになっていませんか	充電を停止し充電プラグを抜いてください
パワー不足	大きな負荷が掛かっていませんか	積載荷重や登坂角度を確認してください
	外気温が下がっていませんか	温度が下がるとバッテリーのパワーは弱くなります。気温が戻るまで待機するか、使用を控えてください
	バッテリーが劣化していませんか	バッテリーを十分に充電してください。それでも充電がされない場合は、当社まで連絡してください
	バッテリーの残量は十分ですか	速やかに安全な場所に移動し、電源を切って、バッテリーを充電してください
走行距離が短い、スピードが出ない	バッテリーが十分に充電されていますか	バッテリーを十分に充電してください。それでも充電がされない場合は、当社まで連絡してください
	外気温が下がっていませんか	温度が下がるとバッテリーのパワーは弱くなります。気温が戻るまで待機するか、使用を控えてください
	重い荷物をのせていたり、坂道を運転していませんか	負荷が大きくなると走行距離も短くなります。使用者最大体重（積載物含む）を確認してください
	高速／低速スイッチを手前に押したままになっていませんか	高速／低速スイッチを上方に押し戻してください
異常な振動や異音が出る	タイヤがゆるんでいませんか	当社まで連絡してください
	タイヤから異音がしませんか	当社まで連絡してください
	フレームやタイヤにガタつきは出ていませんか	当社まで連絡してください

異常がある場合、自己診断警告をコントロールパネルの電源／警告表示ランプでお知らせします。

電源／警告表示ランプを確認するときは、電源をオンにして電源／警告表示ランプの点滅回数をカウントしてください。

電源／警告表示ランプ



自己診断警告のお知らせ

点滅	説明	点検箇所
1	バッテリー低下	バッテリーが少なくなっています。バッテリーを充電してください
2	低バッテリー障害	バッテリーが充電されていません。バッテリーを充電してください。 またはバッテリーケーブルとコネクタが外れている可能性があります。当社までご連絡ください
3	高バッテリー障害	バッテリーの電圧が高すぎます。過充電および長い坂を下る場合に発生する可能性があります。坂を下る場合は速度を下げてください
4	電流制限タイムアウトまたはコントローラーの過熱	モーターの稼働が長すぎて最大電流定格を超えています。 電源をオフにして数分間放置してから再び電源をオンにしてください
5	ブレーキ機能	N-Dレバーが「N」の位置のまま電源をオンにしています。N-Dレバーを「D」にしてください。 またはブレーキ機能が故障しています。当社までご連絡ください
6	運転禁止	下記禁止条件を解除してください ・専用充電器がつながったままになっている ・アクセルレバーを握ったまま電源をオンにした
7	配線	配線に不具合がある可能性があります。当社までご連絡ください
8	モーター電圧	モーターに不具合がある可能性があります。当社までご連絡ください
9	その他エラー	内部に障害がある可能性があります。当社までご連絡ください

※ チェックしても正常に動かない場合、または破損や異常を発見した場合はすぐに運転を中止して、当社にご連絡ください

13 仕様

製品名	アクトモア Lana (ラナ)		アクトモア Lana (ラナ) 2
本体外形寸法 (全長×全幅×全高)	119.5×63~67×114.5cm		
重量 (バッテリー含む)	約93kg		
バッテリー	12V×36AH×2個		
充電器	5A 充電器付属		
タイヤ (前・後輪)	直径28cm (ノンパンクタイヤ)		
駆動方式	後2輪直接駆動方式		
制動方式	電磁ブレーキ・モーター発動制動 停止スイッチ付手動内拡式ブレーキ		
操舵方式	ハンドルによる前輪操舵		
制御方式	アクセルレバーによる無段階速度制御		
シート (座面)	構造	前後位置調整・座面旋回式	
構造	寸法 (幅×奥行)	47×40cm	
前座高	42cm		
アームサポート内寸	45~53cm		
最高速度	前進	5.7km/h	6km/h
	後進	2km/h	
実用登降坂角度	10度		
連続走行距離	約30km		
最小回転半径	140cm	160cm	
段差乗り越え高さ	6cm		
溝乗り越え幅	17cm		
使用者最大体重	100kg (積載物含む)		
フロントバスケット	幅32.5×奥行24×高さ24cm (最大積載量3kg)		
オプション品	フロントバスケット (フタ付き)	幅42.5×奥行27×高さ30cm (最大積載量3kg)	
	リアバッグ	幅39×奥行23×高さ44cm (最大積載量3kg)	
	セーフティーフラッグ	長さ150cm (取付時地上高190cm)	
	ステッキホルダー	幅9×高さ36cm (内径8.2cm)	

■製品の仕様は予告なしに変更することがあります。あらかじめご了承ください。

株式会社フロンティア

フリー
コール **0120-294-518**

フクシのクトハ

千葉本社 福祉本部 〒261-0002
千葉県千葉市美浜区新港 42-4
TEL.043-301-8338



●アフターサービスのお問い合わせ

取扱店